

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 11 番

氏名 小川 稔 宏

答弁を求める者
(○をつける)

(市長) (教育長) 監査委員 選挙管理委員会委員長
 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 市内における I T 関連企業の現状と将来展望について

I T 企業は人材不足が深刻で 2030 年には国内で 79 万人の技術者不足になるともいわれている。市でも I T 企業の誘致を進めてきているが、県東部に比べて立ち遅れている感がある。製造業における人材不足のなかデジタルトランスフォーメーション (D X) 推進は若者の雇用創出や定住にもつながることからもさらに加速する必要がある。

- ① I T 関連事業の起業、新規参入、誘致の実績と事業規模などの現状について伺う。
- ② 浜田の地域性を生かした事業の展開では先進地域との役割分担と連携が必要と思われるが市としての考え方について伺う。
- ③ I T 事業推進に向けた環境整備、事業者支援も含めた将来展望について伺う。

2. 「聞き取り困難症 (L i D)」への対応策について

小中高生の 1 % に症状がみられる「聞き取り困難症 (L i D)」(以前は「聴覚情報処理障害 (A P D)」といわれていた) については親も含め周囲が気づきにくいといわれる。診断可能な医療機関も少なく診断基準も確立されていない。見過ごせば学習活動やコミュニケーションへ悪影響を及ぼす可能性もあり、いじめ・不登校の原因にもなりかねない。

- ① 聴力検査では異常がないのに、聞き取れない、聞き間違いが多い児童生徒が一定数いることから現状把握をすみやかに行うべきであるがその認識について伺う。
- ② 「聴覚情報処理障害 (A P D)」では「聞き取ることが苦手です」と書かれたコアラの「A P D マーク」等があるが、こうしたツールの活用への考えはないか伺う。
- ③ 教育の機会均等の観点から合理的配慮のための研究や教職員研修等を実施し、国・県へも対応策、支援策を早期に求めるべきだと思うが市長の考えを伺う。

3. 新規風力発電事業に関する懸念について

長見町、鍋石町で計画されている風力発電事業は 2025 年 12 月着工に向けて環境影響評価の準備書が出されている。方法書段階より基数は減ったが風車は大型化している。

- ① 再生可能エネルギーの発電量過剰による出力制御が行われているが、電力の需給状況と今後の電力事業の見通しについて伺う。
- ② 美川水源への影響についてはどのような方法によって確認されたのか伺う。
- ③ 発電会社が何らかの事情で営業廃止、撤退する場合の原状回復の考え方を伺う。